



庭のあちらこちらに

スイセンが咲いています



大阪にて パート4

支店長室に4人が入り、私が「お母さん役を係長お願いします。お父さん役を次長お願いします。支店長には小学一年生役をお願いします。」と言ってマイティーチャーをテーブルに出して電源を入れました。「お父さん、お母さん、マイティーチャーの素晴らしいところをこれからお話しします。僕も一緒に聴いてね」と言ってから算数一年生の138というシートをセットしました。

「僕は学校で引き算を習ったかな?」「うん、まだこれから」と子供役を支店長が答えました。「そうか、ではこれから138をお兄さんと一緒に勉強してみようね。」「うん」「お父さん、お母さんが学校で138を習う前にご家庭でどの様に教えられますか?」「お母さんが「ここにおはじきの絵があるように13個のおはじきを用意して13個から8個とって残り5個ですか138と教えます。」

「お父さんもそうですね?」「お父さん、それが一番早いね」「そうですね、お父さんお母さんの時代はその様に習いましたね、でも今は違います。今年から文部省の指導要綱が変わりまして、その様に教えないのです」「ほう、ではどの様に教えているのかね」とお父さん役の次長が言いました。私は「では、どの様に教えているのかこのシートを聞いて見ましょう」とおもむろにスイッチを入れました。マイティーチャーは13個のおはじきを10個と3個に分けます。そして10個から8個を引いて残り2個、この2個と3個を足して5個これが正解です。

$$\begin{array}{r} 13 \\ - 8 \\ \hline 5 \end{array}$$

「随分ややこしい事をするんだね」お父さん「どこかでそんなこと聞いた様に」とお母さん「僕、やり方わかったかな?」「うん、わかった」ほんとかいなあと、私は「お父さん、お母さん、今はこの様に教えているのです。それは2年生になったら積み算を習います。その時には3から8は引けないので、隣の10から8を引いて残り2と3を足して答え5とします。」

迷います。ですからお父さんお母さんが昔の習い方で教えないで頂きたいのです。すべてマイティーチャーに任せて欲しいのです。家庭ではマイティーチャーで勉強、これがベストなのです。『うん、そうか』お父さんは唸っていました。「マイティーチャーはお父さん、月々3000円で買うことができます。機械と教材がついてです。お子さんの為に買って上げて下さい。そして正しい家庭学習を手にして下さい。」「僕も使うよね、これで勉強しようね」「うん、僕する」私のデモは終わりました。支店長は「そうか、そう来るか、小学高学年もこれでいくのか?」「はい、正しい家庭学習ができる事を知らせるには、デモンストレーションは十分です」と私は答えていました。「よし次長、係長如何かな?」「よくできていると思います。」「よし、籠谷君、明日から淡路にある、北大阪機器に出向してくれ。そこは出来たばかりで今うちの者が一人新人セールスの面接に行っている、その者と代わり、君が面接してくれ。社長はこうしたセールスマンの募集も初めての人だから、面接から新人教育からその後マネージャーとして営業の指揮を取ってくれ。目標はセールス12名で月150台の販売を達成すること」

「よし、籠谷君、明日から淡路にある、北大阪機器に出向してくれ。そこは出来たばかりで今うちの者が一人新人セールスの面接に行っている、その者と代わり、君が面接してくれ。社長はこうしたセールスマンの募集も初めての人だから、面接から新人教育からその後マネージャーとして営業の指揮を取ってくれ。目標はセールス12名で月150台の販売を達成すること」

だから君の好きなように運営したまえ、社長は営業には素人だから相談しても無理だから」と無茶苦茶な言い方「よしコレでおしまい」私は支店長室を出て、管理課長に北大阪機器とはどんな会社か聞きに行きましたが、管理課長もよくわからないので、籠谷君の好きにやったら良いと言っていました。みんないい加減。この会社は走りながら考え、行動する会社、出来たばかりの会社なので仕方ないかと私はその日の午後淡路の北大阪機器に挨拶に伺いました。

入社して3日目にして出向、それもマネージャーとして、ノルマもキツチリ言い渡され、それがどんなものかも分からないままの訪問でした。社長が在宅で、一階が事務所、二階が社長の住まい。以前は電気製品のお店であったようですが、それはすっかり姿を消して、一階はセールスの事務所らしくなっていました。社長という方はのんびりした感じでこれからお世話になりますと挨拶しても、ニコニコと笑っているだけで頼りな

い感じの人でした。当社の営業マンは私より3つ年下の田中と言うもので、今までのところと言っても1か月のことですが、新人セールスの集まり具合など報告を受け、10名集まっ

ていて来週から研修するところだそうす。

「いよいよ売ったことの無い教育機器のマネージャーとして明日からこの店に出勤するのだと思うと不安とやる気満々といり混じった気分その日は家に帰りました。

「只今、早速出向だって」と母親に報告。母親は「ではお祝いしなくちゃね」だって何を祝うのか？「どころでお母さん里枝から連絡ない？」「何にもないよ」そうかやはり九州に帰ったかと私は諦めムード、仕事に精を出さねばと。さて私のマネージャーは成功するのか、はたまた悲惨な結果になるのかそれは次回で……

籠谷 弘

歌声喫茶に参加して



紅葉の季節も過ぎ、今年も残り少なくなってきましたが、年齢と共に何もすることも無いのに、気持ちだけが毎日忙しく動いている今日この頃です。

コロナ禍が続く中「うたごえ」に参加させてもらい会員の皆さんと一緒に歌い、楽しいひとときを過ごさせてもらっています。

また、俳句を教えるもらったり、親しくお喋りをしたりする友達もいて、「うたごえ」は私にとってなくてはならない楽しみの一つです。

まだコロナも収束した訳でもなく、気をつけながら日々を楽ししく過ごしていけたらと思っています。

山口和子

歌声喫茶 2月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

2月10日、24日

「洛西」(第1、3木曜日)

2月 3日、17日

楽々亭第16回1月の予定

1月18日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時~12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地 4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。